

らにご希望により、在庫がある全てのIPS出版物、
宣伝活動用として郵便物用シールに印刷されたその年の
会員リストを無料で入手することができます。

個人会員の会費は1年間で50ドル、2年間なら90ドル
です。団体会員は初年度のみ200ドル、以降は100ドル
です。また、IPSでは図書館の講読申込に対し、
『Planetarian』を年36ドルで提供しています。

お支払いは米国ドルでお願いします。IPSでは、
VISA、マスターカード、アメリカンエクスプレス、
ダイナース、JCBの各クレジットカードによる支払
い、アメリカの銀行の小切手、国際郵便為替、トラベ
ラーズチェックを受け付けることができます。アメリカ
以外以外の銀行の小切手、米国ドル以外の通貨は受付で
きません。アメリカ以外の銀行の場合、アメリカの銀行
の小切手を発行できる必要があります。

さらに詳しいことをお知りになりたい時は下記まで
お問い合わせください。また、入会される方は必要事
項を記入し、支払い方法を明記して下記までお送りく
ださい。

Shawn Laatsch
IPS Treasurer/Membership Chair
P.O. Box 1812
108 West Brandeis Road
Greenville, NC 27835 USA
Phone: +1 252-328-9365
Fax: +1 252-328-9371
Email: laatschs@ecu.edu

Printed in USA on 100% recycled paper.

入会申込書（ローマ字で記入入してください）

氏名: _____
プラネタリウム名: _____
施設名: _____
所在地・住所(町名以下) _____
市区町村名: _____
都道府県名: _____
郵便番号: _____
国名: JAPAN
電話番号: + 8 1 - _____
FAX番号: + 8 1 - _____
電子メールアドレス: _____
ホームページアドレス: _____

下記の通り申し込みます（該当するものにチェック）

_____ 個人会員・1年間 (US \$50.00)
_____ 個人会員・2年間 (US \$90.00)
_____ 団体会員・1年間 (US \$200.00)

支払い方法（該当するものにチェック）:

_____ アメリカの銀行小切手 US\$ _____ を同封しました。
_____ 下記のクレジットカードから請求してください。

(丸をつける): VISA MasterCard AmEx Diners JCB

カード番号: _____
有効期限: _____

カードの署名: _____
*プラネタリウム名: 通常は『Planetarium』、プラネタリウム『ドーム』、シ
アター『ホール』、劇場』などの名称がある場合はその英語名称を記入。
*電話番号/FAX番号: 81は日本の国番号。その後には市外局番の0をとった番号を記入。



国際プラネタリウム協会

入会のご案内

<http://www.ips-planetarium.org>

I P S について

I P S (The International Planetarium Society : 国際プラネタリウム協会) は、世界最大のプラネタリウム関係者による団体です。1970年の発足以来、世界中の公立学校、大学、博物館、公共施設などのあらゆる規模のプラネタリウムを代表する700以上の会員が本会に加入しています。

本会の最大の目的は、会員間の情報交換をお手伝いし、プラネタリウム界の発展のために役立てることです。多くのI P S会員が、日常の業務で直面する業界共通の問題に対して、独創的な解決法を編み出しているのです。I P S会員であれば、すでに誰かによって解決済の問題を考えるようなことは避けられます。

I P Sは、プラネタリウムに関心のある方ならどなたにでも門戸を開放しています。会員には、教育関係者、科学者、学生、技術者、脚本家、画家、レーザー技術者、解説者、オペレーター、ハードおよびソフトウェアメーカー、関連企業、プラネタリウムとその星空を愛する後援者やファンなどがいます。

現在、I P Sには世界中に20以上の友好団体を持っています。日本における友好団体は日本プラネタリウム協会(J P S)です。友好団体の代表と選出された役員によって、I P Sの決定機関である幹部評議会が組織されます。これらは全て、無償のボランティアとして行われています。

会員の特典

I P Sの会員には、季刊誌『Planetarian』が配布されます。詳しくはインターネットのウェブサイト<<http://www.GriffithObs.org/IPSPlanetarian.html>>をご覧ください。本誌には、番組制作の考え方、アイデア、技術的なアドバイス、運営に関する情報、エッセイ、研究発表、世界各地のI P Sの友好団体からの短信などが掲載されています。

I P Sは偶数年ごとに、世界のプラネタリウム施設で総会を開催しています。総会には数百名のプラネタリアンが参加し、情報交換、番組制作の最新動向についての議論、新製品のデモの視聴、セミナーやペーパーセッションの開催を行い、お互いの成果を発表しています。最近では、アメリカのカンザス州ウィチタでIPS'2002が開催され、今回は2004年にスペインのヴァレンシアで開催されます。また、2006年の総会はオーストラリアのメルボルンで開催される予定です。参加できるのはI P S会員のみです。

I P Sには、会員のさまざまな関心事に対応するため、いくつかの常任委員会と特別委員会(I P Sポータブルプラネタリウム委員会、I P S出版委員会、I P Sアウトリーチ委員会など)があり活発な活動を行っています。各委員会の委員長は、会員の中からボランティアとして活動する委員を募集します。こうして、会員は積極的にI P Sとプラネタリウム界の未来を作っていくのです。

『I P Sディレクトリー・オブ・ザ・ワールズ・プラネタリウム』は、世界中のプラネタリウムとプラネタリアンの目録で、2年ごとに出版され、会員には無料で配布されます。リストにはI P Sが把握している全てのプラネタリウムが掲載されています。掲載されているデータは所在地およびインターネットでのアドレス、電話およびF A X番号、ドーム径、座席、一般公開の有無、売店、職員などです。

『I P Sリソース・ディレクトリー』は、プラネタリウムのための職業別電話帳のようなもので、プラネタリウムに関するサービスを提供する企業や機関のリストです。初版は1997年に発行され、会員に無料で提供されました。内容は、今後2年ごとに更新される予定です。

I P Sはまた、『特殊投映機資料集』(1997年新版発行)のように、業務に密着したさまざまなトピックスを深く掘り下げたスペシャルリポートを随時発行しています。

将来は、インターネット上での活動(会員専用WW Wへのアクセス、オンラインプロジェクト、メーリングリスト)も行われるでしょう。I P Sのホームページ<<http://www.ips-planetarium.org>>は常に更新され続け、このような活動の拠点となっています。

I P Sの会員で、世界各地のI P Sの友好団体にも参加している会員は、ハッブル宇宙望遠鏡やその他の探査機や研究機関から送られてくる最新の映像を自動的に提供するメディアサービスを利用することができます。詳しくは日本のI P S代表(杉並区立科学館・伊東昌市氏)までお問い合わせください。

I P S求人情報サービスでは、希望する会員に求人情報を提供します。

I P S会員名簿は、プラネタリアンに役立つ製品・サービス・情報を提供するメーカーや組織にも有料で提供されることがあります。会員となっている間は、これらの郵便物を受け取ることができます。希望により郵送先リストに載せないこともできます。

入会案内

I P Sはプラネタリウムを職業としている方だけでなく、プラネタリウムに関心のある全ての方に門戸を開いています。I P Sの会員期間は、申込直後の四半期から始まります。会員にはそれから1年間、全ての出版物と最新版の『I P Sディレクトリー・オブ・ザ・ワールズ・プラネタリウム』が送付されます。入会以前の刊行物は、出版物保管所から購入することができます。

I P Sには個人会員と団体会員の2つがあります。個人会員には、このパンフレットに記載されている特典があります。団体会員には、これらの特典に加えて優美な写真製版のプレートを、毎年つけかえていただくリボンを添えてお送りします。また、パンフレットや便箋に『I P S団体会員』と印刷できます。非会員の職員をI P S総会に参加させることもできます。さ